

留学生による地下鉄駅サインのモニター調査

代表者 人間文化研究科 准教授 市川哲

連絡先 ichikawatetsu@hum.nagoya-cu.ac.jp

連携・協力者 名古屋市交通局

ポイント

名古屋における外国人観光客の増加を視野に入れた交通局との共同調査です

1 概要

- 平成27年度に名古屋市交通局と人文社会学部国際文化学科市川ゼミ及び留学生が共同し、現代社会学科林ゼミと国際文化学科佐野ゼミの協力のもと、名古屋市営地下鉄の外国語表記の特徴と問題点について調査しました。

2 活動内容

- 日本人学生と外国人留学生がグループを作り、共に地下鉄を利用して名古屋市内の代表的な観光地を訪問することにより、名古屋市営地下鉄の駅内外や券売機、地下鉄車両内部の外国語表記を実際に見ながら、その問題点を洗い出していくという活動を行いました。
- 調査は合計3回に分けて行い、延べ21人の留学生、延べ22人の日本人学生が参加しました。
- 調査を踏まえて地下鉄駅構内や地下鉄車両内部、券売機等の多言語表記が、日本語を理解しない外国人観光客にとって、どのように役に立っているのか、あるいは役に立っていないのかを具体的に検討しました。

3 成果

- 27年度末に名古屋市営地下鉄の多言語表記について報告書を作成しました。



調査の様子（地下鉄券売機）



調査の様子（地下鉄路線図）